防災学術連携体　**速報会**

2026 年 夏の気象災害
- 猛暑と千葉豪雨による災害など -

日 時　**2026 年 9 月 18 日（金）13:00〜15:00**

主 催　一社）防災学術連携体（防災に関する 65 学協会のネットワーク）

開催方法　ZOOM ウェビナーと YouTube の併用　　参加費　無 料

参加申込　ZOOM ウェビナー（定員 500 名）

視聴希望の方は次よりお申し込みください

https://ws.formzu.net/fgen/S22768410/

YouTube（申込不要）

https://youtu.be/ZKnGvaesJL4

※発表資料は防災学術連携体ウェブサイトに掲載予定

https://janet-dr.com/060_event/20260918.html

趣　旨

2026 年の夏も猛暑が継続し熱中症が多発するとともに、台風の接近・上陸と豪雨による災害などが発生しました。猛暑は 7 月 28 日の「令和 8 年熊本地震」の災害復旧に深刻な影響を及ぼしました。「令和 8 年 8 月千葉豪雨」による広範囲での浸水被害などの水関連災害が発生しました。その一方で、西日本を中心に 7 月以降の少雨により渇水も発生しています。

防災学術連携体は 6 月 29 日に、市民へのメッセージ 2026「危険さを増す地球温暖化、夏秋の気象災害に備えましょう」を発表し、また、熊本地震や千葉豪雨の発生後には特設ページをホームページに開設し、防災を呼びかけてきました。

ここで、今年の夏を振り返り、①気象の状況と要因、②猛暑による熱中症の状況、③水関連災害の状況について、速報会を開催し、学術分野からの正確な情報の発信と、今後の対策について分野を超えて意見交換します。

プログラム

	司 会	米田雅子　防災学術連携体代表幹事、宇都宮大学理事
13:00	趣旨説明	橋田俊彦　防災学術連携体幹事、横浜国立大学客員教授
13:10	「2026 年夏の記録的猛暑と千葉豪雨などの実態と要因」	中村　尚　防災学術連携体幹事、東京大学名誉教授、日本気象学会
13:30	「猛暑による熱中症の状況と対策」	横堀將司　日本医科大学教授、日本救急医学会
13:50	「2026 年夏の水関連災害の状況と対策」	池内幸司　防災学術連携体幹事、東京大学名誉教授
14:10	「令和 8 年 8 月千葉豪雨の洪水氾濫状況」	二瓶泰雄　東京理科大学教授、土木学会
14:25	「千葉豪雨における多様な浸水形態とその要因 - 地形・道路・流域構造に着目した現地調査 -」	大槻順朗　山梨大学准教授、土木学会
14:40	全体意見交換	
15:00	閉 会	

連絡先　一般社団法人　防災学術連携体 事務局
TEL：03-3830-0188　FAX：03-5876-8463　中川寛子　office@janet-dr.com 、小野口弘美　info@janet-dr.com